

【臨床指標 5】脳梗塞の ICD10 別患者数

●解説

脳梗塞の病型別の患者さんについて、患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を集計したものです。脳血管疾患も死亡原因の上位に位置する疾患であり、脳梗塞の場合、早期に治療を行うことが効果的とされています。救急で搬送される患者さんも多く、受け入れには救急体制の確保が必要となります。

当院においては、I63\$脳梗塞の割合が最も多く、そのうち5割強が救急車による搬送患者です。また、再入院率は約3.5%、死亡退院率は約4.7%であり、これは全国的に見ても低い値となっています。

※ ICDとは、死因や疾病の国際的な統計基準として世界保健機関（WHO）によって公表された病名分類のことで、死因や疾病の統計などに関する情報の国際的な比較や、医療機関における診療記録の管理などに活用されています。1990年に国際統計協会により制定された第10版のことをICD-10と言います。

ICD-10	傷病名	発症日から	症例数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	3日以内	12件	6.7日	75.7歳	0.0%
I63\$	脳梗塞	3日以内	329件	21.6日	70.8歳	22.2%
		その他	5件	8.2日	71.2歳	0.0%
I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	4件	28.5日	75.0歳	25.0%
		その他	34件	9.8日	70.2歳	0.0%
I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	3件	24.0日	62.7歳	33.3%
		その他	6件	13.7日	66.5歳	0.0%